

第2回学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立芦間高等学校
校長名	安田 幸一

開催日時	令和 5年11月11日(土) 8:30 ~ 12:15
開催場所	大阪府立芦間高等学校 会議室
出席者(委員)	笹山幸子、千石仮名江、宮坂政宏、草野功一、高松真由美、奥野和夫(敬称略)
出席者(学校)	安田幸一(校長)、佐々木博章(教頭)、興梠裕一(事務長)、角山愉紀雄(首席)、亀井絵里(首席)、米田浩之(敬称略)
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度 第2回学校運営協議会 資料1 授業見学シート、参観対象授業一覧 資料2 授業アンケート結果(個人票) ひな形
備考	

議題等(次第順)

第2回 学校運営協議会 議事録 令和5年11月11日(土)8:30~12:15

【構成員】委員:笹山幸子、千石仮名江、宮坂政宏、草野功一、高松真由美、奥野和夫

事務局:佐々木博章(教頭)、興梠裕一(事務長)、角山愉紀雄(首席)、亀井絵里(首席)、米田浩之(教務部長)

【出席者】笹山幸子、千石仮名江、宮坂政宏、草野功一、高松真由美、奥野和夫、佐々木博章(教頭)、興梠裕一(事務長)、角山愉紀雄(首席)、亀井絵里(首席)、米田浩之

【内容】

1 会長及び副会長選出 (第1回に保留していたので。) 会長:笹山幸子 副会長:千石仮名江

2 1時間目と2時間目に授業見学 すべての授業一覧と記録用紙を配布してフリーで見学。

3 報告・連絡事項

(1)令和6年度用教科用図書の採択について確認 教務部長より 特に質問・意見はなし

4 審議事項 なし

5 協議 授業改善について

(1)授業アンケートについて 第1回授業アンケート内容について校長より説明

・授業に対する評価は総じて良いと言える。選択科目が多く、生徒が前向きに取り組んでいるため。

・12月に実施する第2回で改善がみられるかを見たい。

・指導スキル、寄り添い、ICT機器の効果的な活用等の点において改善が進んだのではないか。

・論理的な思考を伸ばす試み、(観点別)評価と指導の連動、主体性が尊重された学びの試み等の点は、まだこれからの課題。

(2)協議

各委員より授業見学の感想

・ICTを使う授業が多くなり、分かりやすい。

・ペアで意見交換、プレゼンの練習、プリントも分かりやすい。

・板書のみだったが、先生が横向きの姿勢で立ち、生徒は読みやすく写しやすい。生徒の視線を配慮して授業を行っていた。

・ICTを使い楽しそうにやっていたが、どんな学力をつけるか、論理的思考をどうつけるかが大切。

・小テストから授業に入るの、集中させる点、復習になる点でよい。

・国語の授業だが、図を使って見える化していた。論理的思考を高める点でよい。

・実物で見せることで、抽象的ものが具体的になる。

・「子豚の裁判」(主権者教育)は、教材がすごく良い。生徒も一生懸命見ていたし、まず自分で考えさせていた。

・パレスチナを扱った授業では、それぞれの国の立場を考え、タブレットに打ち込ませていた。班で発表者を決め、比較させた上で、書き直しをさせていたのはよかった。

・ひたすら板書を写す授業で、会話がないう授業もあり。

・班ごとの活動では、生徒は関係のない話をしている班もあった。

・プリントを使っていたが、単純作業で説明中心の授業は、寝ている生徒がいた。

・全体的に、評価の目当て(今日はこれができるようになったらAをつける)をはっきりと生徒に伝えるほうがよい。

・塾でもタブレットを使うことが増えているが、体育や美術などでは、どうやってICTを使うのだろう。

・同じ科目の授業でも、ペアやグループで活動し楽しそうなクラスと、先生が読んでしっかり教えているクラスがあったが、どちらが生徒は理解しているのだろう。

・それぞれメリットとデメリットはあるが、楽しい授業は、知識・理解の面ではどうなのだろう。入試で点は取れるのだろうか。

・グループワークをしているが、あまり楽しそうでない授業もあった。この差はどこにあるのだろうか。

・寝ている生徒がいる授業もあった。説明中心の授業でも、生徒が聞いている授業と寝ている授業があるが、この差はどこにあるのだろうか。

・授業の組み立てや発問の仕方だろうか。

・前回の内容の見直し、リフレクションをどれくらいやっているか。

・総じてプリントを使っているが、プリント学習が理解や物の見方につながっているか。

・説明や板書中心の授業では、主体的な観点はどのように評価するのだろうか。

・教員が皆で議論して授業を作ることが大事。

・クイズの場面では、タブレットで答えていて楽しそうだった。知識になっているかどうか。

・ひたすら板書を写す授業で、会話がないう授業もあり。

・班ごとの活動では、生徒は関係のない話をしている班もあった。

・プリントを使っていたが、単純作業で説明中心の授業は、寝ている生徒がいた。

・全体的に、評価の目当て(今日はこれができるようになったらAをつける)をはっきりと生徒に伝えるほうがよい。教育センターからも言われる。

まとめとして

・高校は授業改革が遅れていた。チョークだけで分らせる授業ができるのはすごい先生ではあるが。

・観点別で何を見ているか、教科の中で良い先生の授業を共有するのもよい。

・授業や日常で生徒と向き合っているかがまず大切。

・ICTがメインになると、中身を吟味し、短縮した時間を思考に使うことができる。チョークだけでできる人も、ICTを使えば思考に時間が使える。

・論理的思考は、グループワークの時間や難易度を考える。

・授業の最初に目標を示すことで、評価と指導が連動する。

・実技科目のICT活用について、デザイン関係の授業では使っている。体育では振り返りに使っている。

・10年研や有志の教員が、授業を変えようとしている。その授業を見ていただけてうれしい。

・論理的思考力は、生徒がどうできているか、思考力を可視化する。

・授業改善の取り組みとして、これまでに4人が授業公開をした。

・観点別評価と授業の連動に関して、まだ試行錯誤中。

今後の授業見学の方法について

・今回は、各委員が自由に見学したが、1つの授業を定めて、その授業に対して一緒に見学をして、意見交換をする方法も考えられる。

6 第2回について

・1月下旬から2月初旬に開催予定

次回の会議日程

日時	令和6年2月 日( )00:00~
会場	大阪府立芦間高等学校